

土光敏夫 実業家、財界人。{石川島}{東芝}再建で"企業再建の神様"、高齢になって{臨調}{行革審}会長に。

どこうとしお

白馬会・・・1896 = 岡山県大野村(岡山市)の農家の次男に生れる。

幼少時から、並外れた体力の持ち主であり、運動会や相撲で賞を独占。

日比谷公園・1903 = 7歳：村立大野尋常小学校に入学。

日露戦争終・1905 = 9歳：

伊藤博文暗殺1909 = 13歳：卒業し、県立岡山中学校を受験するが失敗、大野尋常高等小学校に進む。

その後も受験に失敗し、

大逆事件判決1911 = 15歳：岡山の私立関西中学校に入学。

明治天皇没・1912 = 16歳：

ずっと級長をつとめ、

第一次大戦始1914 = 18歳：

民本主義・・・1916 = 20歳：成績2番で卒業するが、東京高等工業(東京工大)を受験に失敗。猛勉強をして、

ロシア革命・1917 = 21歳：東京高等工業機械科にトップで入学、生長になる。

ハルビン条約・1919 = 23歳：生長としてやむをえず、文部省への大学への格上げデモの先頭に立つ。

大暴落・・・1920 = 24歳：東京高等工業を卒業し、皆の志望が済んで残っていた東京石川島造船所に入社。

原敬首相暗殺1921 = 25歳：

水平社結成・1922 = 26歳：スイス・エッシャー・ウィス社ヘタービン技術習得のため留学。石川島造船所取締役の長女と結婚。

関東大震災・1923 = 27歳：

護憲三派圧勝1924 = 28歳：帰国。

世界恐慌・・・1929 = 33歳：タービンの国産第一号機の秩父セメントへの納入に成功、その名が知られるようになる。

満州事変・・・1931 = 35歳：

五一五事件・1932 = 36歳：

二二六事件・1936 = 40歳：石川島造船所と芝浦製作所が共同出資して設立した石川島芝浦タービン(株)の技術部長に就任。

日中戦争始・1937 = 41歳：GE社など欧米視察後、取締役就任。

大政翼賛会・1940 = 44歳：父が死去。

日米開戦・・・1941 = 45歳：

・・・1942 = 46歳：母登美が橘女学校を開校。以後、支援のため稼いだ収入を投下、自らは清貧の生活を送る。

年金+総武装 1944 = 48歳：専務になる。

敗戦・・・1945 = 49歳：母が死去。橘女学校の理事長となり、ますます教育にも熱を入れる。

新憲法公布・1946 = 50歳：GHQによるトップ追放政策により、社長に就任。

三大事件・・・1949 = 53歳：橘女学校の校長に就任。

朝鮮戦争始・1950 = 54歳：経営危機の石川島重工業再建のため、同社の社長に就任。

造船不況打開のため、他社に先駆けて、海外進出策をとり、また、折からの朝鮮特需もあって再建。

独立回復・・・1951 = 55歳：

メデー事件・1952 = 56歳：戦後初の米国視察。

自衛隊発足・1954 = 58歳：造船疑獄容疑で逮捕され、20日間拘留されたが、検事も驚く清貧ぶりで、関係なしと釈放された。

55年体制始・1955 = 59歳：米国、ブラジル訪問。以後、ブラジルとの関係は強固なものになる。

国連加盟・・・1956 = 60歳：中国親善訪問団に参加。

なべ底不況・1957 = 61歳：東芝の非常勤取締役就任。

イカサマ・1958 = 62歳：石川島ブラジル造船所建設議定書に調印。橘女学校の校長を退任。藍綬褒章。

美智子妃・1959 = 63歳：紺綬褒章。

安保闘争・・・1960 = 64歳：社運をかけた電撃合併石川島播磨重工業が発足、その社長に就く。ブラジルから南十字星大勲章を受章。

タイタイ病始・1961 = 65歳：画期的なミキサー人事で、合併の弊害を相乗効果に変え、

全国総合計画1962 = 66歳：訪ソ経済使節団に参加。早くも相生工場が造船進水量の世界一になり、以後3年続く。

TV宇宙中継始1963 = 67歳：石川島播磨重工業自体が造船世界一になった。

東京リボルブ1964 = 68歳：石川島播磨重工業の社長を退いて会長になり、引退を考えていたところ、

大学紛争始・1965 = 69歳：財界総理石坂泰三の要請で、業績が極度に悪化していた東京芝浦電気社長に就任。

自ら範を示して、殿様商売をしていた社風を一気に変革、

いざなぎ景気1966 = 70歳：勲一等瑞宝章。

霞ヶ関ビル・1968 = 72歳：経団連副会長に就任。

全共闘暴走・1969 = 73歳：東芝を完全に再建して、名経営者の名を不動のものとした。

ドルショック・・・1971 = 75歳：ペルーから最高勲章グラン・クルズ受章。

日中国交回復1972 = 76歳：東芝の社長を退き、会長。石川島播磨の方は相談役になる。

石油ショック1973 = 77歳：オイルショックで落ち込んだ日本経済の回復のため、全財界に推されて、

角栄金脈辞任1974 = 78歳：第四次経団連に初めての東大出でない会長として就任。行動する経団連に変身させた。

クワンシー事件1975 = 79歳：訪中使節団長として中国訪問。

田中角栄逮捕1976 = 80歳：経団連会長に再選。訪ソ経済使節団長として訪ソ。訪欧代表団長として欧州訪問。

JALハイジャック・1977 = 81歳：訪中代表団長として訪中。国際科学技術振興財団が設立され、その会長。

成田衝突・・・1978 = 82歳：勲一等旭日大授章。

革新大敗北・1979 = 83歳：再び、橘女学校の校長に就任。スウェーデン北極星勲章、オランダオレンジ・ナッソー大勲章。

貿易摩擦問題1980 = 84歳：経団連会長を退任。国際科学技術博覧会協会会長に就任。日中経済協会会長に就任して、訪中。

・・・1981 = 85歳：請われて第二次臨時行政調査会会長に就任。

ドイツレポート 1983 = 87歳：臨時行政改革推進審議会会長に就任。

バブル始・・・1986 = 90歳：民間人として初の勲一等旭日桐花大授章。

リクルート事件・1988 = 92歳：老衰のため、没した。

ソニーマガジンス「土光敏夫語録」、経営書院「土光敏夫大事典」、「没年日本史人物事典」、「日本の群像」、「目でみる日本人物百科」、